



Global Study:
従業員選択制と、その未来の
働き方へのインパクト

 jamf



今日の市場で競争するために世界中の企業は、進化するモバイルワークフォースの中で企業や顧客のデータの安全性を確保しながら、人材を維持し、惹きつけるための新しい効率的な方法を模索しています

社員、デバイス、そしてネットワークが一元的に配置され、管理されていない場合、ハードウェアや、ソフトウェア、テクノロジースタックの重要性は、全体的な成功のためにさらに重要となります。しかし、それだけではありません。

今日では、従業員のテクノロジー体験は、従業員の業務体験となっています。従業員による選択肢とは、従業員がいつ、どこで働くかということだけではなく、どのようなテクノロジーを使って働くかということも重要です。

従業員選択制プログラムの重要性と、企業における将来の仕事への影響を評価するために、Jamfは2021年夏、市場調査会社である [Vanson Bourne](#) に依頼し、2,000人の従業員と、民間および公的機関の500人の IT関連の意思決定者 (ITDM) を対象としたグローバル調査を実施しました。

エクゼクティブサマリ:

テクノロジーの従業員選択制は、従業員が働く場所を選ぶ際に、また、雇用主にとっては優秀な人材の雇用とビジネスを維持させるために、企業にとっては業界内での競争力を見極めるためにも必要不可欠です。

実際に、今回の調査では、回答者の87%が、業務においてデバイスを選ぶことは自分にとって重要であり、デバイスを選択する権限を得るためには、給与の一部を犠牲にしても良いと89%が考えています。しかし、雇用主と従業員の双方にとって多くのメリットがあるにもかかわらず、このような従業員選択制プログラムの導入は依然として遅れています。

本レポートでは、従業員選択性がどのように従業員の採用と定着に役立つのか、また組織がどのようにして未来の仕事に備えることができるのかについて、深く掘り下げていきます。





US



UK



GERMANY



FRANCE



JAPAN



AUSTRALIA



INDIA



MEXICO



NETHERLANDS



人口統計:

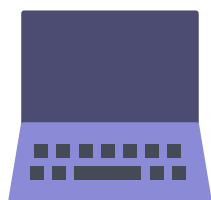
今回の調査では、従業員とITの経験をグローバルに反映させるために、あらゆる業種の企業を対象とした人口統計と調査方法を選択しました。

2,000人の回答者のうち、半数はAppleユーザで、残りの半数はApple以外のテクノロジーを仕事で使用しており、さまざまな業種、部門、企業規模、および役職の方たちに回答していただきました。

本調査に加えて、500人のITDMに対して、別途現在の状況だけでなく、COVID -19が流行し始めた頃、そして近い将来において、業務用デバイスの管理についてどのような体験をしているのかについて回答していただきました。

従業員選択制

従業員選択制プログラムを導入している企業では、企業側が1種類のブランドやデバイスを全てのユーザに強制したり、従業員のデバイスに対する快適さやニーズを判断するのではなく、従業員が仕事で使用するコンピュータハードウェアやモバイルデバイスを複数の選択肢の中から選ぶことができます。



この調査では、従業員の選択が企業の従業員基盤に与える影響は大きく、従業員の**ウェルビーイング、採用、定着**にプラスの効果があることがわかりました。

回答者の91%が、従業員選択制プログラムから利益を得られたと回答しており、その理由としては、**生産性、積極性、肯定感の醸成**などが挙げられています。

回答者の70%は、デバイスの選択肢が与えられれば、その企業に入社する可能性が高くなると答え、75%は自分のデバイスを選ぶことができれば、その企業にとどまる可能性が高くなると答えています。

70%

入社する可能性が
高くなる

75%

企業にとどまる可能性
が高くなる

89%

給与を犠牲にしても良い

従業員の選択は、非常に重要であり、回答者の10人中9人(89%)は、給与を犠牲にしても自分が選んだ新しい業務用デバイスを手に入れたいと考えています。



結論: 従業員選択制はとても重要

従業員にとって、デバイスの選択肢は重要であるにもかかわらず、そのような選択肢を提供することには課題があります。回答者の約半数(54%)のみが、従業員選択制プログラムやBYOD(Bring Your Own Device)戦略のいずれか、または両方を実施していると回答しています。

ITDMが報告した従業員に選択権を与える際の主な課題:

- ・異なるコンピュータを効果的に管理することの難しさ
- ・異なるOSのサポート
- ・個別のワークテクノロジーパッケージにかかる時間とコスト

これらの課題を念頭に置くことで、企業は将来に向けて今のうちに準備をしておくことができます。



働き方の未来

2022年以降、約3分の2 (62%)の従業員が自宅とオフィスの両方で仕事をすると答え、約半数(47%)が2025年まで継続すると予想しています



Apple Users 82%

NON-APPLE USERS 68%

今回のパンデミックでは、Appleユーザーの組織においては、自宅とオフィスの両方で仕事をするハイブリッドワークモデルを採用する傾向が非常に高く(82%)、非Appleユーザ組織(68%)と比較して、従業員がどこにでもデバイスを持ち運んで仕事をするという柔軟性を示していました。

しかし、セキュリティリスクなど、IT部門が考慮しなければならない要素もいくつかありました。パンデミックに見舞われた企業は、モバイルワークフォースをサポートする際に多くのことを考慮しなければなりません。

パンデミックは、従業員のデバイスの使用方法に影響を与えただけでなく、IT部門のニーズにも影響を与えました。ITDMの半数以上(55%)は、Appleデバイスの管理に関する問題は、Apple以外のデバイスに比べて少ないと回答しています。また、今回の調査では、IT部門の過半数(58%)は、Appleデバイスの方がセキュリティを確保しやすいと回答しており、Apple以外のデバイスを好むIT部門では42%という結果でした。

55%

報告される問題が少ない



58%

Appleのデバイスはセキュリティを確保しやすい

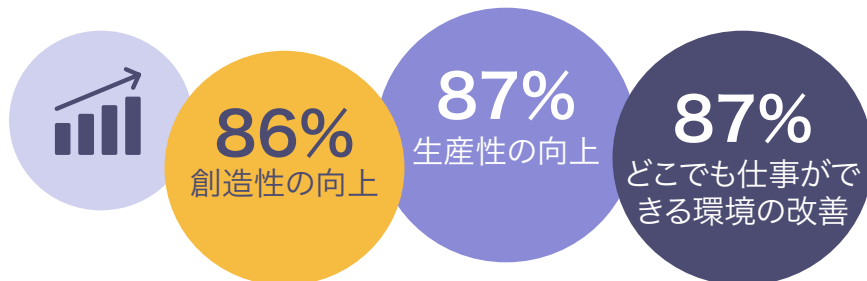


企業におけるApple

Appleユーザは、様々な理由からApple製品に強い親近感を持ち、Apple以外のユーザはAppleに対する親近感があまり高くありません。このようなAppleへのポジティブな考えから、Appleユーザは従業員選択制プログラムを高く評価し、その多くが定着率と採用率を向上させています。

選択肢があれば、AppleユーザもApple以外のユーザもApple製品を選ぶことに興味を示します

これまでApple以外のデバイスを使っていたユーザは、Appleへの乗り換えを楽しんでいました。調査対象となったAppleユーザのうち、65%が仕事でApple以外のデバイスを使用した経験があり、仕事で使ったことのあるApple製品以外のデバイスとAppleデバイスの使用感を比較すると、Apple製品を使うことで改善されるという明確な傾向が見られました。例えば、これらの回答者は、創造性、生産性の向上、そしてどこでも仕事ができる能力が向上したと報告しています。



62%
Appleデバイスを選ぶ

35%
Apple以外のデバイス

Apple製品の使用は、回答者自身の感情や認識、そしてウェルビーイングにも影響を与えています。Apple製品を使用している人のうち、仕事用デバイスに関連したポジティブな感情を報告しなかった人はわずか1%で、ほとんどの人が「プロフェッショナルであると感じている」(51%)、「効率的であると感じている」(45%)、「自信があると感じている」(44%)とポジティブな回答をしています。

もし職場でAppleとApple以外のデバイスを選べるとしたら、より多くの回答者がAppleを選ぶでしょう。

Appleユーザに、職場で使いたいデバイスのタイプと尋ねたところ、82%がAppleを選ぶと答えました。

全回答者のうちAppleのデスクトップを使うと答えたのは56%で、Apple以外のデスクトップを使うと答えたのは38%でした。

ノートパソコンについても同様に、62%がAppleを選ぶと答えています。

まとめ

Appleが提供するサービスは、企業が未来の働き方に備えるのに役立ちます

Appleのモバイルデバイス管理(MDM)ソリューションを導入している企業が、ユーザと企業のハードウェアやソフトウェアとの連携を強化し、より高度なセキュリティ体制を確立するために、あるいはこれから始める場合にも、私たちはそのお手伝いをさせていただきます。

Appleのハードウェアとソフトウェアに特化した、スケーラブルで自動化されたソリューションは、お客様の組織が必要とするものです

Apple Enterprise Managementは、ゼロタッチ導入、IDベースのアクセスと管理、インベントリ管理とレポート、セキュリティコンプライアンスとレポート、自動デバイス管理、アプリケーションライフサイクル管理など、すべてが連携して、従業員選択性の導入や生産性や効率の向上、快適な体験をサポートします。

Apple Enterprise Managementの詳細については
以下よりお問い合わせください。

Jamfを無料でお試しいただくことも可能です

[詳しくみる](#)

または、Apple正規販売店にお問い合わせください